

「耕作放棄地を解消して、新たな養蚕業へ」(株式会社あつまるホールディングス)

法人の概要

【所在地】 熊本県熊本市中央区紺屋今町

【設立】昭和56年7月 【農業開始時期】 平成26年11月

【経営面積】21.4ha

【営農作物】 桑

【参入に至った経緯・動機】

熊本県山鹿市は、かつてシルクの一大産地であったが、生産者の高齢化や生産効率の低さ等により急速に衰退し、存続が危ぶまれていた。

しかし、近年シルクは、化粧品分野や医薬分野へ活用の幅を広げつつあることから、大規模な周年無菌養蚕工場を整備し、全く新しい産業として養蚕業の復活に取り組むことになった。



取組のポイント

- 蚕の餌となる桑葉を確保するため、二十数年の間耕作放棄地となっていた山鹿市の標高600mの畑を造成し、25haの巨大桑園(天空桑園)として再生した。
- 桑園と周年無菌養蚕工場で働く従業員は、主に地元の山鹿市から雇用しており、中山間地域の重要な雇用の場となっている。
- (株)あつまるホールディングス、(株)あつまる山鹿シルク、山鹿市で「やまが新シルク蚕業構想推進協議会」を設立し、行政と一体となって「やまがシルク」の認知度向上に取り組んでいる。